

# (財団) 検査ニュース



平素より、佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、「病理組織検査 検体提出時のポイント」についてご案内いたします。  
 なお、財団ホームページ(検査ニュース)にも掲載していますので、ご参照ください。

佐賀県健康づくり財団  
 佐賀県健診・検査センター

## ■■ 病理組織検査 検体提出時のポイント ■■

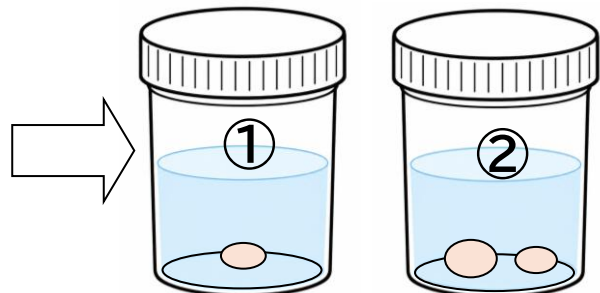
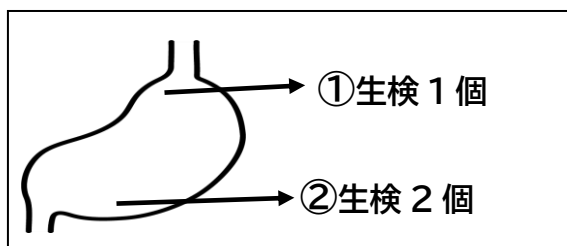
### 検体提出前のチェック！

- 情報：患者名・採取部位・採取方法は記入されていますか？
- 速度：採取後、すぐに固定液に入れましたか？
- 液量：固定液(ホルマリン)は十分量入っていますか？
- 密閉：蓋はしっかり閉まり、液漏れはありませんか？

病理診断の精度を最大限に引き出すためには、採取直後の適切な処置と臨床情報が重要なポイントとなります。検体採取後の固定処理、依頼書の記載事項へのご協力をお願いいたします。

1)病理組織検査依頼書の太線枠内には、

- ①採取部位(例：胃幽門部、上行結腸、直腸、子宮頸部、背部皮下腫瘍など)、
- ②採取方法(生検、CSP、EMR など)のご記入をお願いします。  
 文言でも、臓器のシエーマでも可です。
- ③採取された組織の個数をご記載ください。  
 複数部位から検体を採取した場合は①、②など容器に記載して区別をお願いします。



2)摘出後は速やかに固定液(ホルマリン)へ浸漬してください。

容器は大・中・小ありますので(検査案内P40 参照)、組織の大きさにあった容器をご使用ください。

3)結果報告書は検体受付日から3~7 営業日程度でお届けいたします。

- 留意事項：①組織の性状により脱脂・脱灰操作が必要な場合、遅延することがあります。
- ②診断のため、必要に応じて特殊染色や免疫染色を追加で行う場合があります。  
 その際は事前に依頼元へご連絡いたします。(別途料金が発生します。)
- ③手術材料の結果報告については1~2 週間程度が目安となります。
- ご不明な点がございましたら、提出前に病理細胞診検査室へご相談ください。

佐賀県医師会会員医療機関の先生方の身近な検査室として診療を支援いたします。  
 ぜひ、検体検査は当財団検査センターのご利用をお願いいたします。